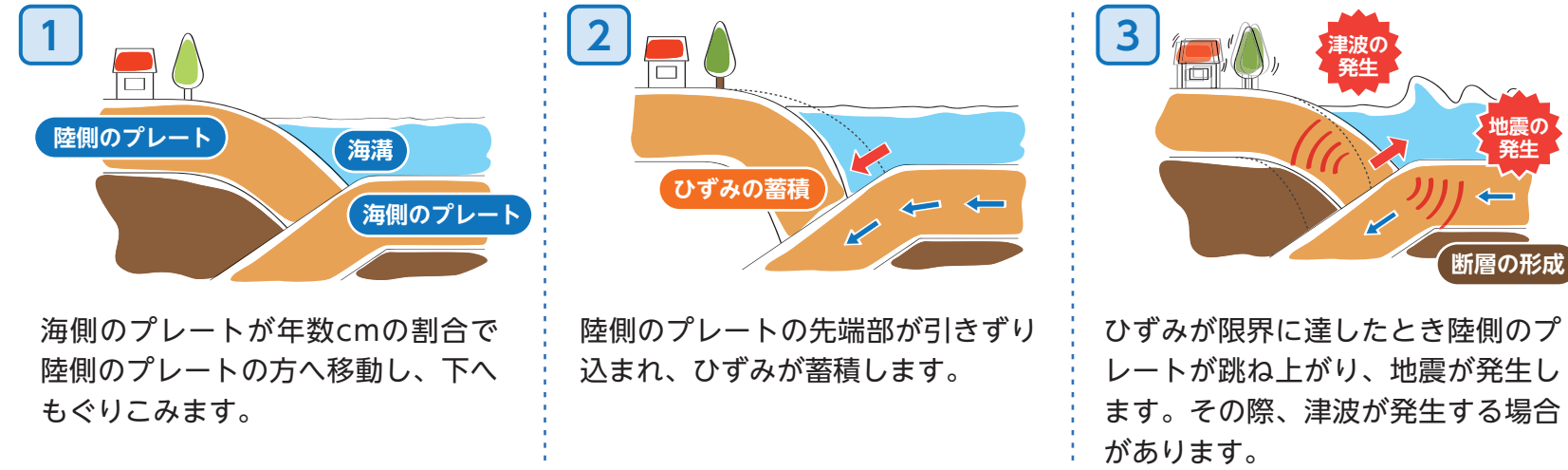


● 地震発生のしくみ

海溝型地震

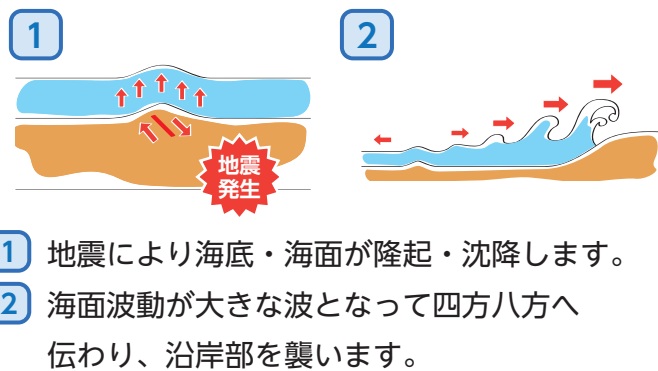
海溝型地震はプレートの境界部で発生する地震です。2011年の東日本大震災や1923年の関東大震災などは海溝型地震による災害です。

海溝型地震発生のしくみ



● 津波発生のしくみと特徴

津波発生のしくみ



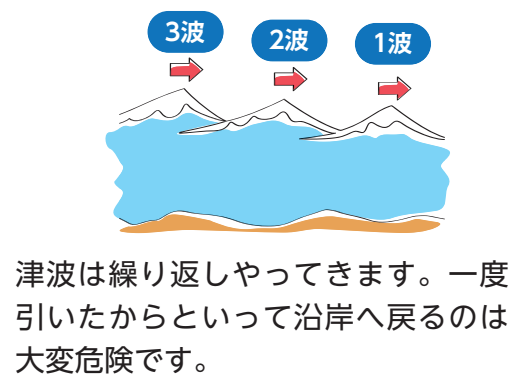
河川の遡上



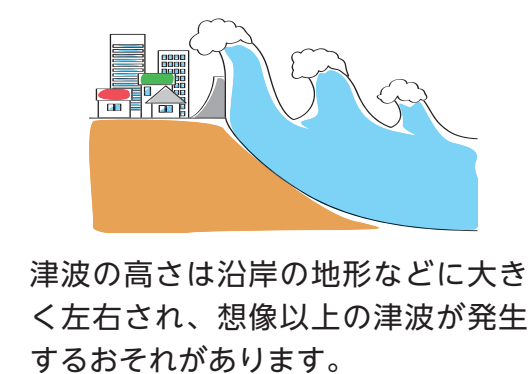
予兆がなくてもくる



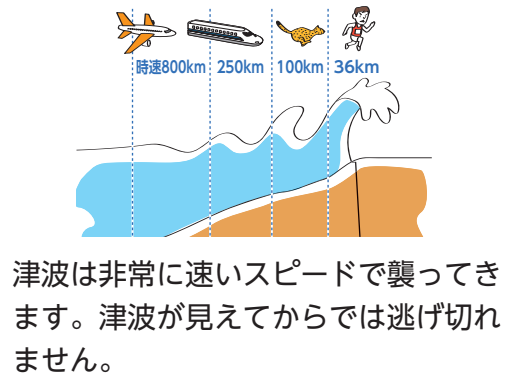
繰り返してくる



想像以上の高さ

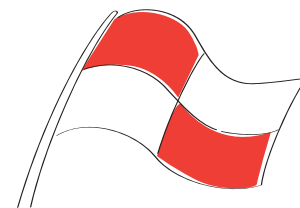


ジェット機並みの速さ



● 津波フラッグについて

津波情報（警報・注意報）が発表されると、テレビやラジオ、サイレンなどでお知らせするほか、海水浴場では「津波フラッグ」が掲げられます。津波フラッグを見かけたらすぐに高台に逃げましょう。



● 津波情報

地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、大津波警報、津波警報または津波注意報が発表されます。その後、「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時間」などの情報が発表されます。

予想される津波の高さ		警報の名称	みなさんの対応
数値での発表（発表基準）	巨大地震の場合の表現		
10m 超 10m < 高さ	巨大	大津波警報	沿岸部や川沿いにいる人はただちに指定緊急避難場所やできるだけ高いところへ
10m 5m < 高さ ≤ 10m			
5m 3m < 高さ ≤ 5m			
3m 1m < 高さ ≤ 3m	高い	津波警報	沿岸部や川沿いにいる人は指定緊急避難場所やできるだけ高いところへ
1m 20cm ≤ 高さ ≤ 1m	(表記しない)	津波注意報	海の近くにいる人は指定緊急避難場所やできるだけ高いところへ

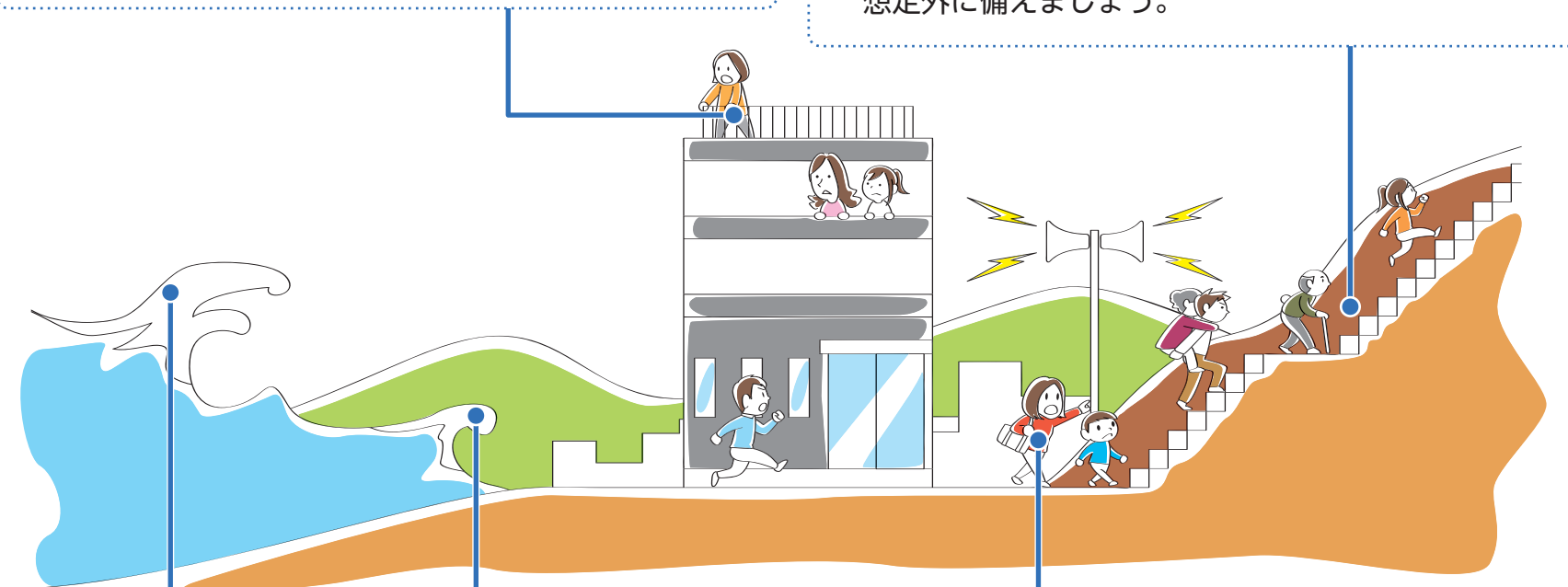
● 津波からの避難

逃げ遅れたら
その場そのときで命を守る行動を

津波が見えてから遠くへ逃げても間に合わないため、近くにある少しでも高い頑丈な建物、高い場所へ駆け上がりましょう。

原則 早めの避難

できるだけ早く、高いところへ。津波浸水想定区域の中にお住まいの方は揺れや津波情報をきっかけにただちに高いところへ避難しましょう。浸水想定区域の外にお住まいの方も防災情報を確認するなど、想定外に備えましょう。



津波は繰り返してやってきます。

小さい津波でも大きな破壊力です。第1波が最大とは限りません。

可能であれば非常持出品を持って避難しましょう。